

松ぼっくり

2003年春号

◆国松石材株式会社

発行所/国松石材(株)

本社 福岡市博多区下呉服町8-35

営業本部 粕屋郡志免町南里11-5

Tel 092-957-3500/Fax092-957-3505

呉服町 福岡市博多区中呉服町6-1 善導ビル

ギャラリー Tel092-291-2454/Fax092-291-2456

墓石ガーデン 福岡市東区香椎472-3 (三日山公園下)

Tel 092-672-7257/Fax092-672-7258

工場 福岡市東区松田3丁目16-12

Tel092-629-1189/Fax092-629-2043

ホームページ http://www.kunimatu.com

こま いぬ 狛犬

身近にある物だけど、あまり良く知らない。そんな物って結構ありますよね。

神社を訪れた時、参道の両端で私たちを迎えてくれる狛犬もそのひとつではないでしょうか？今回はその狛犬にスポットをあててみました。

狛犬とは？

狛犬の起源は、古代オリエント文明におけるライオン像と考えられており、エジプトのスフィンクス(顔は人、体はライオンの巨大な石像)も狛犬の祖先にあたります。中国、朝鮮(高麗)を経て日本に渡来してきた狛犬を、初めて見た日本人は、今までに見たこともないこの不思議な動物を高麗の犬だろうと考え、高麗からきた犬、高麗犬と呼ぶようになりました。

一般には狛犬とひとくくりにして呼ぶことが多いですが、正確には口が開いたものを獅子として左に置き、口を閉じ、頭を一角を持つものを狛犬として右に置きます。平安時代には、はっきりと区別され、清涼殿の御帳の前や、天皇・皇后の帳帷の鎮子として用いられていました。



「枕草子」にも、中宮が新しい邸に移るにあたって、新しく御帳やその裾に置く獅子・狛犬をしつらえた話があります。これがやがて神社や寺院にもとり入れられ、その勇ましい姿から聖域を守護する象徴として現在の狛犬になっていったのです。

あ・うん

狛犬といえは「阿吽」と連想される方も多いのではないのでしょうか。狛犬、仁王などの一対を「阿吽」といい、口を開けたものを阿形、閉じたものを吽形といいます。この「阿吽」とは何のことなのでしょう。

複数の人が一緒に何かをしようとすると、微妙な調子や息が合つてうまくいくこと、口に出さなくても、相手の気持ちをわかりあっていることなどを「阿吽の呼吸」と言ったりします。「阿」は吐く息、「吽」は吸う息であることからように言われているようです。また、サンスクリット語を表す悉曇文字の最初の音が「阿」で、最後が「吽」であることから、物事のはじめと終わりの意味だともいわれています。

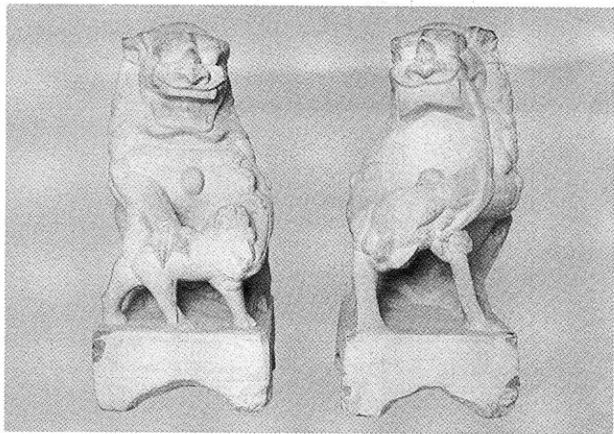
十狛犬十色？

一口に狛犬と言っても、時代や出身地によつて顔や形が違ってきます。古くから大陸との交流があり、玄関口でもあった福岡には、宋風の狛犬が多く残っています。

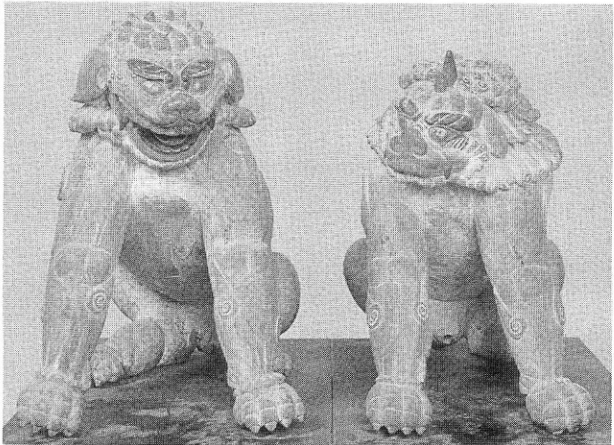
その代表的なものが宗像大社の神宝館に収められている石製の狛犬です。重要文化財にも指定されているこの狛犬は、宋で作られ、建仁元年(一一二〇)一年・鎌倉初期)に宗像大社に奉納されたものです。阿、吽それぞれに手に

は子と鞠を抱いています。首飾りなどの意匠や台座の唐草模様など、よく見ると細かいところまで加工されていることがわかります。大きく体をねじり、顔が正面を向いているのが宋風の狛犬の特徴です。(①)

神宝館には、もう一対木製の狛犬も収められています。クスの大木による一木造りで、高麗様式といわれるその造りには、他の狛犬では見られない力強さと形に大きな特徴があります。顔も愛嬌があり、仲良く肩を並べた姿を見ていると『阿吽の呼吸』という言葉の意味をしみじみと感じさせてくれます。(②)



①石造の狛犬 宗像大社神宝館



②木造の狛犬 宗像大社神宝館

宗像大社には、この他に神門前(③)に一对、祈願殿前(④)に一对、狛犬があり、それぞれに特徴があります。まさに十狛犬十色。

もうすぐ春です。いろんな狛犬に会いに神社めぐりなどはいかががでしょうか？

宗像大社

福岡県宗像郡玄海町田島

TEL(0940) 62・1311

宗像大社神宝館

休館日 年中無休

開館時間 9時～4時30分

入館料

大人 300円

高校・大学生 200円

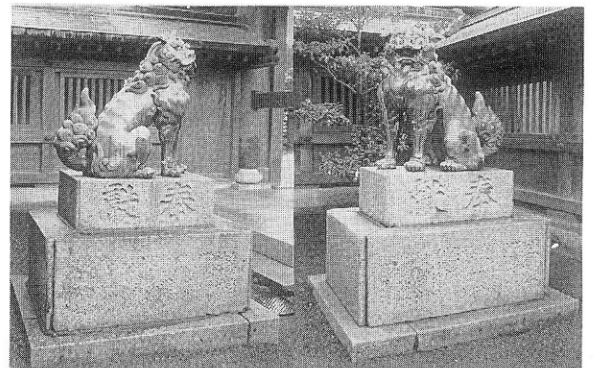
子ども(中学生以下) 100円

幼児 無料



④祈願殿前の狛犬

昭和46年、国松石材が施工いたしました。高さ1.6メートル、3トンの狛犬、台座を含め5.5メートルの大きさは、当時西日本一といわれ話題になりました。



③神門前の狛犬

江戸時代に作られましたが、なぜか尻尾だけが盗まれ、明治時代に造り足しています。

はみだしエッセイ

隣の狛犬さん

狛犬を眺めていると、どうしても思い浮かべてしまう親戚夫婦が私にはいます。どのような夫婦かといいますが、おばさんはおしゃべり好きで、おじさんはどちらかというと無口なほう。まさに阿と吽。と、ここまでだと、ただ単に口が開いている人と結んでいる人というだけなのでは？と言われそうですが、それだけではありません。

なんとこの夫婦、餅つきが上手いのです。私の田舎では、毎年暮れに親戚が集まって石臼でお餅をつくのですが、仕上げはいつもこの夫婦がしています。まさに阿吽の呼吸の合点で、お餅が出来上がります。いつもながらすごい、と感心している私に、おばさんの「はい揉め！(はやくお餅を丸めて)」の声がとんできます。私がおばさんと阿吽の狛犬関係になれるのはもう少し先でしょうか。

皆様のまわりには、狛犬のような夫婦や二人組はいませんか？

取材ご協力ありがとうございました。

宗像大社

権禰宜 伊藤 佳和様

宗像大社文化財管理事務局

学芸員 重住 真貴子様

位牌とお墓の関係

近年、九州における墓石の形状の傾向として、以前からよくみられる角柱墓石の他に、球体や柔らかな曲線を用いた個性的なお墓が目立つようになってきました。これは、家よりも個人を重視するようになった社会情勢を反映したものであると言われています。

では、昔からの形とされる角柱墓石は、どのように誕生したのでしょうか。

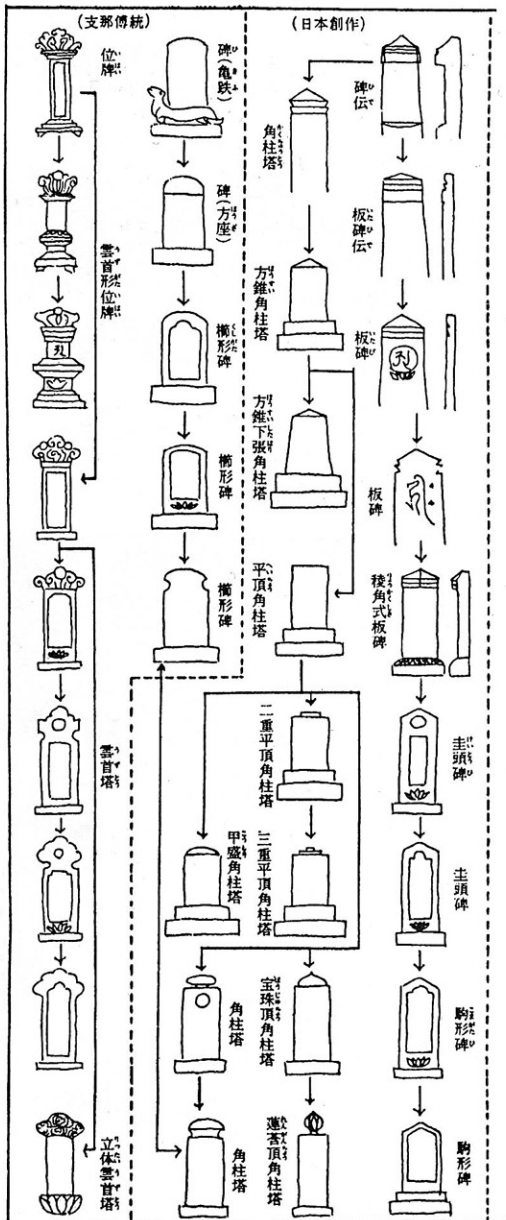
角柱墓石が誕生したとされる江戸時代の墓石は、現在の角柱墓石とは異なり、頂部に「位牌型」「笠付」「香箱型」等位牌と共通する形がみられるようです。

この位牌の起源は儒教にあります。孔子が説いたといわれている『礼記』や『儀礼』などに当時の死者儀礼が詳しく書かれています。これらの文献により、死後は、屋敷内に遺体を棺に納めて仮に安置しておき、身分によって三ヶ月から七ヶ月後、

墓地に葬ります。埋葬をすませてから死者の霊をなぐさめる儀式が催されます。このときに神霊を憑かせる依代をつくりました。これを木主や真主とよびました。これが位牌の原型といわれています。

位牌は、時代とともに変化し、中国の宋の時代に禅僧が日本に持ち込み（鎌倉・室町時代）、室町時代に禅宗で使われ始め、十六世紀になって一般に広まり、江戸時代にさらに普及していきました。

墓地に葬ります。埋葬をすませてから死者の霊をなぐさめる儀式が催されます。このときに神霊を憑かせる依代をつくりました。これを木主や真主とよびました。これが位牌の原型といわれています。



▲ 日本仏塔の系譜
「日本の美術 10 石田茂作 至文堂」より抜粋

仏教は、日本に伝来して変化をし、浄土真宗により死者は、すべて仏になるといふ観念が庶民の間に広まります。それにより、伝統的な祖霊（先祖の霊）崇拜の感情と崇仏（仏を崇拜する）とが共存する形で信仰が進められてきました。

その為、本来仏だけのものであるはずの仏壇に、新しく仏となった死者の位牌を合わせて祀るといったことが行われるようになりました。墓石も、本来の供養塔の意味を持つものである以上に、死者が仏になったことを証明することを期待するようにもなってきたのです。

そして、江戸時代の元禄（一六八八年〜一七〇四年）以降、墓石の形状は、仏壇に安置し、朝夕礼拝して

ている位牌や仏像と同じように、蓮台の上に戒名をしるしたもの、あるいは、仏壇そのものを簡略にかたどり戒名をしるしたもの、更には、仏像そのものを刻んで戒名をそなえたものなどがつくられるようになってきました。

仏の加護の証として、それ自身が仏として礼拝の対象となる墓石の形となったのです。

そして、仏教に対する信仰心が弱まる明治時代以降は、直線的三段積みみの墓塔に変化していき、今日の形となりました。

今回は、角柱墓石の歴史を少しばかり紐解いてみました。何かの参考になれば幸いです。

【参考文献】
仏事の基礎知識 藤井正雄 講談社
お墓を建てる 冬樹社
国語大辞典 小学館

町名散歩

第4回

蔵本町



今回の町名散歩は、千代町から昭和通りを天神方面へ行く途中に位置する蔵本町です。

江戸時代には蔵本番と呼ばれていたようです。呼び名の由来としてはいくつがあるようですが、一つの説としては、博多一帯の米を収納する蔵があり、そこに番人を置いたので蔵本番と呼ばれるようになったとのことです。他の説としては、豊臣秀吉による博多町割で、広く大きな町を、「番」を付けて解かりやすく区切ったとも言われています。これは現在、住所を現す時などに使う、く町く番地の意味のように考えるとよいようです。

当時「番」を名のる町は博多には幾つかありましたが、明治七年以降にはこれらはすべて「町」と呼ばれるようになりました。

西鉄バス「蔵本町」から徒歩五分の所に、万四郎神社があります。



この万四郎神社は、密貿易の罪で処刑された江戸初期の貿易家伊藤小左衛門一家の子供、小四朗と万之助の二人の幼い霊を祭る神社として伝えられています。

子供の息災の神として崇敬されており、七月十九日の万四郎神社の夏祭りには、我が子の無事を願う親達の参拝が多いようです。また、伊藤小左衛門の墓は御供所町の妙楽寺にあります。

蔵本町がある昭和通りは、日々絶え間なく車が走っていますが、細い路地に一步はいりますと、こぢんまりとした昔懐かしい雰囲気喫茶店などを目にして、ほっとした気分になりました。

ゆつくりお茶を楽しみたい時は、あなただけの素敵なお店が蔵本町で見つかるかもしれませんよ。

第1回「松ぼっくり杯」ゴルフコンペ結果報告

昨年の10月26日(土)、福岡サンレイクゴルフ倶楽部にて第1回松ぼっくり杯ゴルフコンペが行われました。社員を含めた4組・14名による珍プレー、好プレーの大熱戦の結果は以下の通りとなっています。選手の皆様お疲れ様でした。

優勝 河村 清様 (ネット74 グロス74)

準優勝 八尋 健介様 (ネット74 グロス80)

次回もたくさんのご参加をお待ちいたしております。



何でも質問コーナー

前回のアンケートハガキで寄せられた質問にお答えします。

Q 石塔などの文字入れはどのように行われているのですか？
また、金で書いている場合はどうなりますか？

A 彫刻は以下の2つの方法で行われます。
・文字の形に切り抜いたゴムシートを石に貼り、その上から機械で彫る。(サンドブラスト工法)
・習字紙などに文字を書き、その紙を石に貼り付け文字を鑿やエアークラスターで彫る。(手彫り)
彫刻した後、文字に色(白色や黒色等)を入れていきます。金文字の場合は、カシューという高分子塗料を彫った石面に塗り、その表面が乾く寸前に金箔を置いて柔らかい筆または綿で押さえて仕上げます。

プレゼント当選者発表

厳正なる抽選の結果、次の方々が当選されました。たくさんのご応募ありがとうございました。

- ①全国百貨店共通商品券 5,000円分
青柳 明男様、太田 敦子様、大島 貴哉様、藤岡様
- ②博多座のお土産
細見 秀文様、他9名様
- ③お墓洗いセット
牛尾 正義様、他19名様

お墓に関することでお悩みがあれば、どのような事でも同封のハガキにてお寄せ下さい。

抽選で素敵なプレゼントもご用意させていただきます。詳しくはハガキをご覧ください。